

# 東日本大震災・原子力災害伝承館 館内語り部講話スケジュール

2月	午前 ①10:00~ ②11:15~	午後 ③13:15~ ④14:30~
1日	紙芝居『菜の花物語』(南相馬市)	当時11歳にとっての東日本大震災(富岡町)
2月	震災発生から全町避難を振り返って(富岡町)	震災と私～その時、私の周りで起きたこと～(双葉町)
3火	休館日	
4水	東日本大震災と避難生活の実態(浪江町)	東日本大震災ーあの日から14年が過ぎて(南相馬市)
5木	福島第一原発事故における病院避難について (東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です)	長い避難生活を支えた励ましの数々(富岡町)
6金	あの日の震災から学んだこと(富岡町)	震災・原発事故を語る(双葉町)
7土	防災意識を高めよう。みんなと、自分を!(南相馬市)	震災当日の行動と教訓及び復興事業について(いわき市)
8日	ふるさとで暮らす(大熊町)	浪江に生きる記憶ーあの日から始まった「ふるさと」との対話(浪江町)
9月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、相馬の実家、そして大切な家族」(相馬市)	『残照』～震災の記憶～(相馬市)
10火	休館日	
11水	震災経験とその後の活動(南相馬市)	置き去りにされた動物(浪江町)
12木	原発事故が学校にもたらしたもの(南相馬市)	東日本大震災から考える防災と社会課題(大熊町)
13金	役場職員 震災直後の7日間(浪江町)	「当たり前」はない(大熊町)
14土	震災・避難・現在の歩み(富岡町)	変わりゆくふるさと それでも前を向いて(双葉町)
15日	生きのびるために(双葉町)	東日本大震災 娘との日々(富岡町)
16月	伝統文化存続の危機と伝承(双葉町)	原発から25キロに住む1人として(南相馬市)
17火	休館日	
18水	震災時の体験と伝えたいこと(大熊町)	紙芝居で伝えたいこと(浪江町)
19木	東日本大震災と避難生活の実態(浪江町)	双葉の子どもたち(双葉町)
20金	13:15～震災後の2日間とその後(大熊町) 14:30～震災・原発事故から復興へ(大熊町)	10:00～震災後の2日間とその後(大熊町) 11:15～震災・原発事故から復興へ(大熊町)
21土	震災経験とその後の活動(南相馬市)	あの日を忘れない それが備えの第一歩～震災の経験から伝えたいこと～(南相馬市)
22日	防災意識を高めよう。みんなと、自分を!(南相馬市)	東日本大震災原発事故により避難した体験をダンボールアートを通して語り伝える(富岡町)
23月	伝統文化存続の危機と伝承(双葉町)	『残照』～震災の記憶～(相馬市)
24火	休館日	
25水	臨時休館(2/25～2/27)	
26木		
27金		
28土	原発から25キロに住む1人として(南相馬市)	調整中

※タイトル横の( )内は語り部の震災当時の居住地です。

※スケジュールは2026/1/28現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。